

# 「PitCom」とのコラボで乗用車事業を強化へ

## いづみ自動車

同社は1967年に神奈川県横浜市で設立後、68年に千葉県市原市に移転。現在は同市内に本店と姉崎店の2拠点を展開している。4トン以上の大型車主体の整備工場として、いづみトラックエコノミカルマネジメント「ITEM」という独自システムをはじめ、「グリーン経営認証取得支援プラン」を提供することで、主要顧客である運送会社の経営戦略を強力にサポートする施策を推進している。

従業員数は約50名で、09年の車検台数は2205台で過去最高を達成。総入庫台数は月平均1200台(大型車1000台、小型車200台)を数える。

同社が「HDM3000」を導入したのは08年11月で、09年7月に「PitCom」に加盟したが、田村社長はPitComの構想が打ち出された当初から加盟を希望していたという。その理由は「新技術への対応」であり、とりわけ大型車整備の将来に対して抱いていた不安感があった。

「大型車もエレクトロニクスの時代に入り、すでに電子制御に関する車両不具合が発生しており、それに対応する診断技術が必須になっています。そのためには専用のス



本店

キャンツールと勉強する場が必要で、その両方を得るためにPitComに加盟しました」と目的を話す。

HDM3000の使用状況を見ると、主としてチェックランプ点灯車に使用しており、その頻度は乗用車で週3～4回程度、エンジン関係が8～9割を占めているという。

また、チェックランプが点灯していなくても、エンジン不調車が入庫してきた場合は、内部で不具合が起きている可能性があるため、水温や回転数を測定し基準値との誤差を確認したうえで対処している。症状を把握するために診断機を車両につないで診断する作業時間は5分である。

同社では、従来から本店の向かいにある旧第2工場を「乗用車整備工場」として再構築する構想を温めている。そこで、マイカー市場への進出と今後の本格的な電子整備時代への取り組みを視野に入れ、PitComとのコラボレーションを構想中である。

個人のお客様が入りやすい店作りを展望するとともに、PitComにより「技術」をアピールすることを検討している。その一環として、「5ガスタスタ」を活用した新たな点検整備メニューを計画している。

「どの程度の内容とサービスならお客様に納得いただけるかが今後の検討課題」として、期間限定



代表取締役 田村 圭氏

でマイカーの全入庫車両に対して「排気ガス無料診断サービス」を実施することを検討中である。

これに先駆けてPitCom技術講習会に電装整備チームの2名を派遣。今後は順次他の整備チームも派遣する予定で、技術力の向上に磨きをかける方針だ。

なお、大型車については、現状ではHDM3000の対応車種にのみ使用している状況のため、対応車種と診断範囲のさらなる拡大を望んでいる。

今後の展望としては「PitComのネットワークを活かして他の加盟店と横のつながりを強化していきたい」と意欲的で、本部には経営者や故障診断の実務責任者など階層別に情報交換できる場の提供を期待している。

・千葉県市原市岩崎西1-6-5  
TEL0436-22-0021

・PitComに関する問合せ  
(株)日立オートパーツ&サービス  
PitCom本部PitCom推進部  
TEL:044-221-6476 FAX:044-221-6477  
Mail:ishizuka@hitachi-autoparts.com  
担当:石塚 桐木平

